

令和四年度 事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

ウィング練馬居宅介護支援事業所

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

平成 22 年 4 月開設以来、みさよはうす土支田は、13 年目を迎えました。ご利用者様お一人お一人の個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスと笑顔をモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛されるアットホームな特別養護老人ホームとして順調に推移致しているところです。

令和 4 年度におきましては、施設全体の稼働率は、利用者のニーズに的確に応える努力をしましたが、年間を通じ 97.00%（別表 7）となっています。

令和 5 年度については利用者の皆様に、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を行ない、真っ先に選んで頂ける世界で有数の施設を目指してまいります。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 27.7 名であった。令和 3 年度の新規入所者は 8 名、退所者は 10 名であった（表 1）。また、平均年齢は、男性 81.5 歳 女性 83.6 歳、全体で 87.7 歳であり、要介護度の平均は、男性 3.9、女性 4.0、全体で 3.95 となっている。入所者の趨勢的高齢化、重度化の傾向が窺われる（別表 1～3）。

《表 1》 特養退所者の状況

No.	性別	年齢（退所時）	退所月日	退所後の居所
1	女	89	R4/7/5	入院中脳梗塞発症
2	女	91	R4/7/11	老衰の為
3	女	93	R4/9/28	誤嚥性肺炎・老衰の為
4	女	84	R4/11/10	進行性核上正麻痺
5	女	88	R4/11/28	老衰の為
6	女	95	R4/12/10	老衰の為
7	女	95	R4/12/27	コロナ感染症及び老衰の為
8	女	94	R5/1/11	細菌性肺炎
9	女	92	R5/2/17	老衰の為
10	女	87	R4/12/29	入院の為

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。なお、令和 4 年度末現在、食事介助を必要とする人が 7 名、食事形態別では、常食 14 名、一口大 3 名、きざみ食 3 名、ごくきざみ食 6 名、ミ

キサー食 3 名、胃漏 1 名となっている。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、令和 3 年度末現在、特浴(10 名)、チェア浴 (13 名)、一般浴 (5 名) の 3 機種の中からより安全な入浴方法を選び、週 3 回 (月・水・金) の入浴を実施した。ちなみに、ショート・ステイ(S.S.)の方でも、2 名枠で同様に 3 機種で実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1 日 6 回の定時交換 (1 時、5 時、9 時、13 時、16 時および 20 時) のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、次の栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月 1 回の体重測定 (新規入所者は入所時)
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握 (アルブミン値などから体内の栄養状態を把握し、必要なケアを行なう。)
- ⑤食事形態、食事の変更等の記録
- ⑥必要栄養量・水分・たんぱく質量の算定、充足率を把握

(5) 健康管理

嘱託医による週 1 回の内科往診および月 2 回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者 1 人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、10 月に健康診断を実施。家族の承諾により 12 月にインフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種を 1 回目 6 月、2 回目 7 月、3 回目 2 月、4 回目 8 月摂取 に実施。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員のうち、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した当施設は、機能強化型在宅療養支援診療所と提携している。(これは、訪問診療に従事する常勤医師が複数名おり、厚生労働省で決められた厳しい実績を有し、1 年 365 日 24 時間、連絡がつく体制のクリニックのことを言う。)

(6) 機能訓練

- ①常勤の機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、機能訓練士、言語聴覚士 (非常勤) 等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したリハビリを実施した。

特に、機能訓練士は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体の様子を確認しながらリハビリを行い、計画の変更があれば、介護職にもポイントを指導した。併

せて、車イスやベッドでのポジショニングについても、指導した。また、言語聴覚士（非常勤）は、個別に話す、聞く、食べることについては、上職の連携によって指導され、集団での口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施した。

②提携外部の歯科医師による口腔ケアを週1回実施した。尚、歯科に関しては、必要時にご家族了解のもと、治療も実施した。

(7) レクリエーション

毎月1回、誕生会は、3ヶ月に1回、その他、歌唱（童謡・文部科学省唱歌）・カラオケ（懐メロ等）、お化粧品、お茶会、みさよカフェ、ボーリング、風船バレー、棒・タオル体操、ぬり絵、折り紙、各種ゲーム、映画鑑賞など、入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》

年間行事

	行事内容
4月	映画観賞会
5月	母の日レク、映画観賞会
6月	お誕生会（4月5月6月生まれの方）
7月	七夕祭り
8月	納涼祭（童謡合唱、スイカ割り、ノンアルコールビールで乾杯） 花火大会
9月	映画観賞会、第一興商によるカラオケレク、 敬老会&収穫祭、お誕生日会（7月8月9月生まれの方）
10月	ハロウィンパーティを開催
11月	映画観賞会
12月	クリスマスパーティ&お誕生日会（10月11月12月生まれの方）
1月	職員による獅子舞：各フロアを回り、一年無病息災を祈って頭を噛む 真似をしたりし、利用者の方々から喜ばれました。 書初め、映画観賞会、こども食堂、そろばん教室開催
2月	節分祭（豆まき）：鬼が2階3階を巡回
3月	ひな祭り&お誕生日会（1月2月3月生まれの方）。映画観賞会。



●4・5・6月お誕生日会。



●女子お茶会。



●移動販売で買い物中。



●お正月で獅子舞い大暴れ中。



●音楽療法士による音楽会。



●節分・鬼退治。

4 家族等との連絡調整等

令和4年度は、コロナ禍の中、面会禁止の日々が続いた。どうしても面会させて欲しいというご家族には、正面玄関のガラスドア越しの面会を10分以内に制限したり、ZOOM対応したりと、工夫を凝らして安全第一に行われた。また、来設希望の

あまりないご家族様にも、季節の節目には、連絡を入れ、現況を伝えるようにした。ご面会者数、激減した一昨年 87 人（1 日平均 0.23 人）に対して昨年度の 127 人（1 日平均 0.37 人）に対して 248 人（1 日平均 0.67 人）と若干増加した。

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的で開催し、利用者のケア等について検討した。

《表 3》

委員会名	内 容
① 栄養委員会	利用者の栄養ケアに関すること
② 口腔ケア委員会	口腔内の衛生を保ち、誤嚥性肺炎などの呼吸器系の事故・疾病を未然に防ぐことなどについて
③ 感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関し、ノロウイルス、インフルエンザ、手洗いうがいの励行について。
④ 褥瘡対策委員会	褥瘡の予防、処置等に関し、おむつ交換、体位交換、皮膚の洗浄の必要性について
⑤ 身体拘束廃止虐待防止委員会	利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関することについて（毎月開催）
⑥ 事故防止委員会	利用者等にかかる事故の防止に関することについて
⑦ 防災・安全対策委員会	防火・災害防止及び災害時の対応等に関すること。
⑧ リハビリ委員会	個別機能訓練等の検討等に関すること
⑨ レクリエーション委員会	利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること
⑩ ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用、登録等に関すること
⑪ 入所判定委員会	入所者の選定に関すること
⑫ 職員会議	施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等
⑬ 安全衛生委員会	職員の労働環境、健康管理の確保等
⑭ 研修委員会	全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること

6 職員研修

集合研修を実施することが困難なシフト制職場であるため、同一内容を伝達研修や DVD 研修、また昨年度に引き続き、e-learning と ZOOM 活用研修を行なう等の工夫を行った。

《表4》主たる研修会一覧

※ E-learning はお茶の水サービス学院の研修項目を各自、弱点設定受講。

No.	名称	開催月	備考
1	高齢者の権利擁護について	令和4年4月	法人研修・勝野理事
2	事故防止への取り組みについて	令和4年5月	法人研修・勝野理事
4	新型コロナウイルス等感染症対策について	令和4年6月	法人研修・勝野理事
4	脱水・熱中症予防・水分補給について	令和4年7月	法人研修・勝野理事
5	特別養護老人ホームにおける褥瘡ケア・スキンケア	令和4年8月	法人研修・勝野理事
6	特別養護老人ホームにおける看取り介護について	令和4年9月	法人研修・勝野理事
7	新型コロナウイルス等感染症対策について	令和4年10月	法人研修・勝野理事
8	高齢者の権利擁護について	令和4年11月	法人研修・勝野理事
9	リスクマネジメント	令和4年12月	法人研修・勝野理事
10	新型コロナウイルス等感染症対策について	令和5年1月	法人研修・勝野理事
11	福祉サービスにおける苦情解決について	令和5年2月	法人研修・勝野理事
12	認知症高齢者の理解とケア・身体拘束廃止について	令和5年4月	法人研修・勝野理事

7 ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿うものであり、令和4年度においても、音楽療法士による音楽療法や傾聴、体操、脳トレ、ゲームなどのボランティア活動を受け入れさせて頂いた。たいへん好評で、笑顔が多く見られた。また、コロナ渦でもあったため、体温チェックや三密を避け、ソーシャル＝ディスタンスを保つなど、マスクや消毒を徹底し、飛沫感染防止対策を徹底して行われた。

8 実習生の受け入れ

平成25年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。令和4年度は教員免許状の取得を希望する学生を介護等体験の実習生として受け入れることは希望を含めなかった。

9 職場体験事業希望者の受け入れ

令和4年度は東京都福祉人材センター職場体験事業からの紹介で3名を受け入れた。

また近隣の区立中学校2校から職場体験学習の依頼があり、生徒各校4名合計8名を受け入れた。近隣施設ではコロナ感染拡大の影響のため受け入れが困難であったようで、当施設の受け入れに対し大変感謝された。なお来設前に抗原検査をしてきてもらうなど、感染対策については学校の協力もいただきながら徹底して行ない、無事に終了することができた。

10 インターンシップの受け入れ

(主催：TOKYO かいごチャレンジインターンシップ事務局)

介護業務への就労を希望する者を施設に受け入れ、介護サービスや業務内容の理解を深め、介護職場への定着を図ることを目的とする職場体験事業について、実習生として令和4年度は4名を受け入れた。抗原検査等感染対策は徹底して行なった。

12 実績の見られた有効な介護ロボット

介護ロボットの導入によって、介護ロボットに関する研究事業に参加してきたが、実際に有効的な結果を示している介護ロボットは、次に示すものであった。

《表5》みさよはうす土支田で現在使用されている有効なロボット機器一覧

種類	会社	機種	配置数	利用数	備考
機能訓練	モリトー	POPO	1	1	
機能訓練	モフトレ	MOFF	1	1	
移乗支援	パナソニック	リシヨーネ	1	1	
移乗支援	パナソニック	リシヨーネ(旧型)	1	1	
移乗支援	ケアフォース	サテライト・サラステディ	1	1	
移乗支援	イノフィス	マッスルスーツスタンドアロン	1	1	
コミュニケーション	富士ソフト	PARLO	4	4	
コミュニケーション	(株)知能システム	PARO	2	2	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(サーバ)	1	1	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(42	42	
見守り支援	パラマウントベッド	眠り scan	42	42	
見守り支援	(株)トラックキモ GPS	トラックキモ	2	2	
移動支援	RT ワークス	RT1	1	1	
排泄支援	リバティソリューション	RT2	1	1	
排泄支援	アロマ化成	キューレット	2	2	
排泄支援	フランスベッド	HELPPAD	12	12	

14 地域貢献(連携)

(1) 東京子育て応援事業

平成28年9月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営してきた。平成29年6月から「子ども食堂」と併せて、「そろばん教室」を開始し、令和4年度も、「子ども食堂」と「そろばん教室」は、原則毎月第二土曜日に実施してきたが、令和4年5月は当施設で新型コロナウイルス感染症が発生した為、また8月は夏休みで子供たちが集まらなかった為、中止とした。開催回数は年10回、参加者数は計30名。

(2) 環境美化活動

地域の美化活動に貢献するために、以前「みさよはうす土支田おそうじ隊」を結成して練馬区の環境美化活動団体として登録していたが、令和4年度は登録条件をみたさないため登録できなかった。練馬区が毎年5月と11月の最終日曜日は、区内一斉清掃事業日（ごみゼロデー）と定めていることから、当施設でもこれにあわせて、地元町会に協力し、年2回の一斉清掃活動に事務室が参加した。なお清掃、植栽剪定など環境美化活動については、日常的に行っている。

- ・ 日 時 令和4年5月29日（日）
令和4年11月27日（日）
- ・ 場 所 施設周辺

（特養 了）

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員2名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数（延べ）は、男性51名、女性151名、合計202名であった（別表5）。令和4年度のショートステイの新規利用者が177名であった。これは、施設内でコロナ感染が発症した為、減少したと思われます。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性81.58歳、女性83.63歳、全体83.11歳だった。若干の低年齢化と思われる。（別表4）。また、要介護度の平均は、男性3.0、女性3.9、全体3.7であった（別表6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けているが、令和4年度は、ショートステイの年間利用率は、98%だった（別表5）。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査（三者面談）と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツ・ドアの送迎サービスを行った。

(4) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週4回実施。

②ショートステイ利用者のうち、長期間定期的に利用される方については、機能

訓練指導員による個別機能訓練も実施した。

令和3年度実績 延べ202人

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

(短期入所 了)

令和4年度 ウィング練馬居宅介護支援事業所 事業報告

【期間】令和4年4月1日～令和5年3月31日

【職員在籍者(令和5年3月31日現在)】

管理者(1名) 藤本 恵美

介護支援専門員(1名) 藤本 恵美

【利用者数、居宅支援費実績報告】国保請求分

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要支援 委託支 援費	要介護居 宅サー ビス費合計 請求額
R4/4	6名	4名	15名	15名	9名	4名	1名	54名	44940	571592
R4/5	7	2	19	13	9	4	1	55	44940	583903
R4/6	8	3	17	16	14	4	1	63	44940	571592
R4/7	8	3	17	11	11	4	1	55	52512	590220
R4/8	8	2	20	15	12	6	1	64	49434	701092
R4/9	8	2	14	18	11	4	1	58	44940	611124
R4/10	8	2	17	13	11	3	1	55	44940	591507
R4/11	6	3	16	13	10	3	3	54	44940	610706
R4/12	5	3	16	12	10	3	1	50	46602	566566
R5.1	5	3	15	16	9	3	1	52	42108	597687
R5.2	6	2	17	15	10	3	1	54	35952	603522
R5.3	6	2	14	11	8	6	1	48	35952	545705

○終了ケース：11件(逝去5名・入院1名・入院後老健2名・入所1名・転居1名・卒業1名)

【介護保険要介護認定調査委託料】

R4.4月～R5.3月(R5.1月はコロナのため中止)：毎月1名4400円 合計48400円

【研修出席状況】

- R4.5.27 消防訓練(法人研修)
- R4.5.27 在宅療養に関する事例検討会
- R4.6.13 新型コロナウイルス感染症対策について(法人研修)
- R4.6.21 第一回地域ケアセンター会議
- R4.6.24 消防訓練(法人研修)
- R4.7.11 脱水・熱中症予防、水分補給について(法人研修)
- R4.7.22 消防訓練(法人研修)
- R4.8.8 褥瘡ケア・スキンケア(法人研修)
- R4.8.26 消防訓練(法人研修)
- R4.9.12 看取り介護について(法人研修)
- R4.9.15 多職種連携会議
- R4.9.16 居宅サービス計画書記載要領の確認を行いながら、ケアマネに求められることを考える
- R4.9.28 消防訓練(法人研修)
- R4.10.5 介護保険認定調査員現任研修
- R4.10.20 ケアマネひろばひかり研修「準備しておこう、自身が起こるその前に」
- R4.11.16 高齢者虐待防止研修
- R4.11.15 第二回地域ケア会議
- R5.2.22 医療連携ワークショップ
- R5.2.13 福祉サービスにおける苦情解決(法人研修)

【苦情報告】なし

(了)

(別表1)

〈年度末平均年齢〉

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	4	81.5	78～89
女	26	83.6	86～90
(全体)	30	82.6	78～90

(別表2)

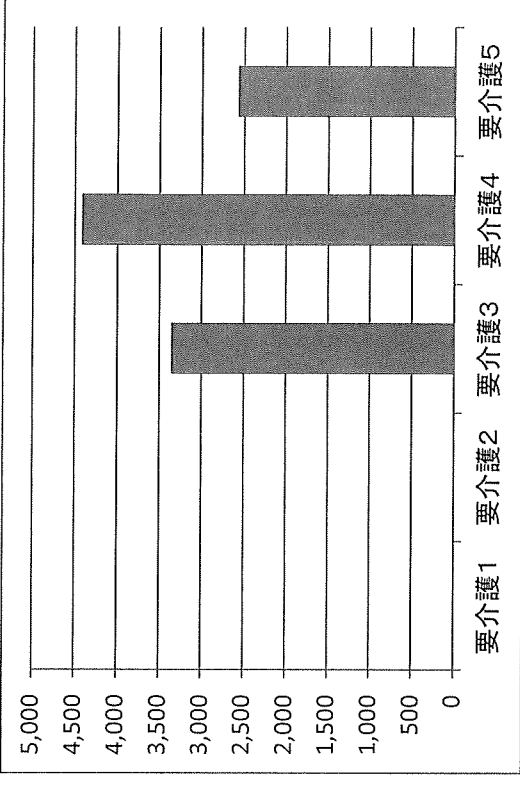
〈月別利用者の状況〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													
要介護2													
要介護3	270	279	270	279	248	251	254	282	307	279	301	341	3,361
要介護4	390	441	420	386	403	387	403	357	336	310	280	310	4,423
要介護5	180	186	210	217	248	240	248	249	226	196	168	207	2,575
計	840	906	900	882	899	878	905	888	869	785	749	858	10,359
要介護平均	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9
実人員	840	906	900	882	899	878	905	888	869	785	749	858	10,359
延べ定員数	840	930	900	930	899	900	930	930	899	806	784	868	10,616
1日平均利用者数	28.0	29.2	30.0	28.5	29.0	29.3	29.2	29.6	28.0	25.3	26.8	27.7	340.5
稼働率	102.00%	98.00%	101.00%	100.00%	100.00%	99.00%	99.00%	102.00%	94.00%	89.00%	97.00%	97.00%	98.17%

(注) 本表では、在籍日数により算出しています。

令和4年度

(別表3)



(別表4)

＜年度末平均年齢＞

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	4	81.6	73～84
女	13	83.6	81～87
(全体)	17	83.11	77～86

(別表5)

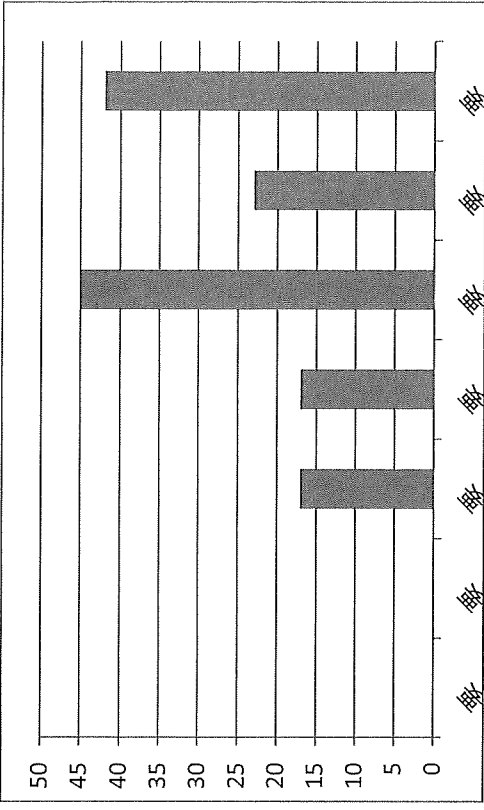
＜月別利用者の状況＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1													
要支援2													
要介護1	1	2	2	1	2	1				1	4	3	17
要介護2	4	2	1	4	3	1					1	1	17
要介護3	5	1	3	4	5	5	5	4	1	4	3	5	45
要介護4	2	3	1	2	1	2	3	2	3	1	1	2	23
要介護5	3	3	3	1	2	2	2	5	3	5	6	7	42
計	15	11	10	12	13	11	10	11	7	11	15	18	144
要介護平均	3.6	3.7	3.6	3.0	3.1	3.6	4.1	4.2	4.3	4.1	3.6	3.6	3.7
実人員	15	11	10	12	13	11	10	11	7	11	15	18	144
延べ定員数	25	15	13	21	17	16	14	14	9	15	21	22	202
1日平均利用者数	3.9	1.8	2.0	2.9	2.6	1.8	2.0	2.3	1.6	2.6	3.3	2.8	29.6
稼働率	102.00%	98.00%	101.00%	100.00%	100.00%	99.00%	99.00%	102.00%	94.00%	89.00%	97.00%	97.00%	98.17%

(注) 本表では、利用日数により算出しています。

令和4年度

(別表6)



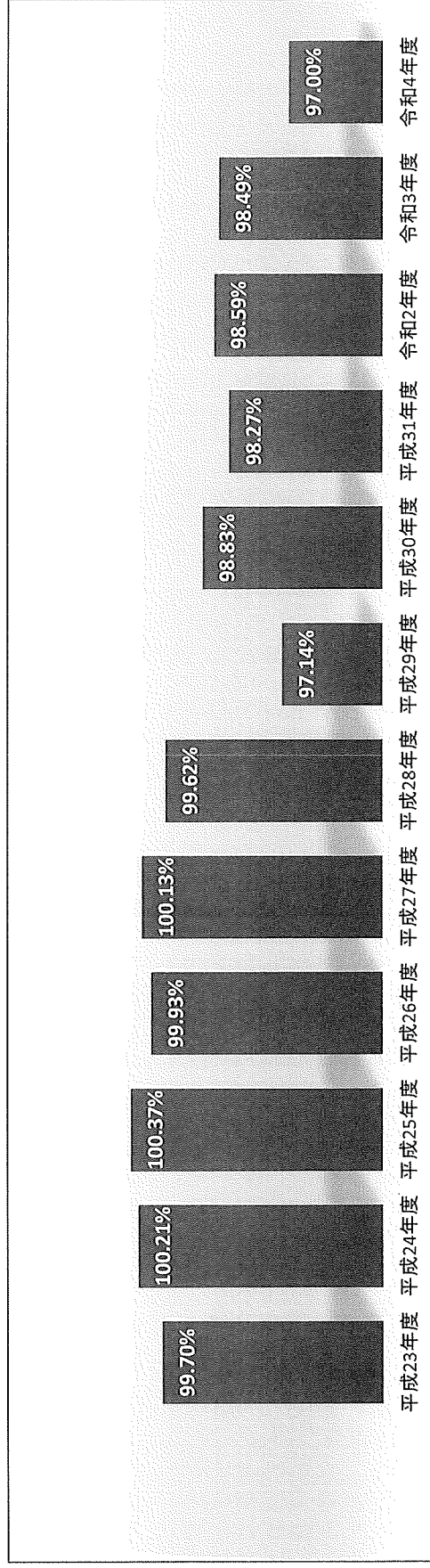
(別表7)

＜月別稼働率＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養・ショート(定員32名)													
特養	840	906	900	882	899	878	905	888	869	785	749	858	10,359
ショートステイ	15	11	10	12	13	11	10	11	7	11	15	18	144
計	855	917	910	894	912	889	915	899	876	796	764	876	10,503
延べ定員数	865	945	913	951	916	916	944	944	908	821	805	890	10,818
稼働率	97.33%	98.00%	101.00%	100.00%	100.00%	99.00%	99.00%	102.00%	94.00%	89.00%	87.00%	97.00%	96.94

(注)本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



年度	稼働率
平成23年度	99.70%
平成24年度	100.21%
平成25年度	100.37%
平成26年度	99.93%
平成27年度	100.13%
平成28年度	99.62%
平成29年度	97.14%
平成30年度	98.83%
平成31年度	98.27%
令和2年度	98.49%
令和3年度	97.00%
令和4年度	97.00%